



大崎環第 246 号
平成 28 年 7 月 6 日

宮城県知事 村 井 嘉 浩 様

大崎市長 伊 藤 康 志



鬼首地熱発電所設備更新計画 計画段階環境配慮書に対する意見について(提出)

平成 28 年 6 月 8 日付け環対第 1 2 3 号で通知のありましたこのことについては、別紙のとおりです。

担当：大崎市市民協働推進部
環境保全課 課長補佐 菅原 亮一
TEL：0229-23-6074, FAX：0229-23-2427
E-mail：kankyo@city.osaki.miyagi.jp



鬼首地熱発電所設備更新計画 計画段階環境配慮書に対する意見について

今回の事業がリブレース計画であり、事業実施想定区域も現在の敷地内での範囲となっているが、栗駒国定公園内での実施となることから環境保全に配慮した計画を望むものである。

《騒音，振動について》

事業稼働後の冷却塔などの騒音はもとより，生産井，還元井を坑口集合方式に変更することによる予測評価，設備更新時の工事作業における，騒音，振動測定値の予測及び評価の実施について，適切な対応を願う。

《大気質について》

硫化水素については地熱発電を起因とするものではないが，他県での死亡事故の例もあることから，地域の特性や最新の知見を踏まえた評価を願いたい。

《水環境について》

生産井，還元井の掘削長の延長による近隣の温泉や上水道への影響予測に努められたい。

《植物について》

計画段階配慮事項として選定されている項目ではあるが，事業実施想定区域が重要な植物群落内でもあることから，慎重な予測評価を願う。